

SDGsと地域に根ざした社会貢献

【東京都】 淑徳高等学校 社会福祉部

高校生ボランティア・アワード2022



淑徳中学高等学校 社会福祉部

部と活動について

コロナ禍で校内でできることとして、ふくのわプロジェクト・フードドライブ・ハガキ回収などの回収活動を始めました。そこから徐々に活動の幅を広げ、子ども食堂のボランティアや募金活動も行っています。自主性・積極性を求めるため、活動の提案は部員が行い、強制参加の活動はありません。中高合わせて145名の部員が好きな活動に参加しています。昨年度からは、より多くの人に活動を知っていただけるように部のInstagramを開設しました。



➡ 板橋区から「青少年表彰」されました(2021年度)

SDGsと地域に根ざした社会貢献

- ①活動する中でSDGsのような地球規模の取り組みに貢献するグローバルな視点と
- ②地域に密着したボランティアを通じて地域社会に貢献するローカルな視点をもつ

SDGsと地域に根ざした社会貢献

子ども食堂ボランティア

～経験してわかる本当のあり方～

高島平にある子ども食堂でお弁当を詰める・渡す・子どもと遊ぶなどのボランティアをしています。この活動は開始から1年以上経過し、ほぼ毎日部員が参加しているため、子ども食堂側から「大変助かっている」というメッセージをいただきました。

子ども食堂ボランティアを経験して

- ①子ども食堂のイメージの転換
貧困・貧しい方が利用
➡働くお母さんたちの憩い場・地域コミュニティの拠点
- ②ボランティアだけでなく自分自身も成長
幅広い年齢層のボランティアさんとの交
➡年齢に幅を超えたコミュニケーション

高校生には中々機会がない!

グローバルな視点: 1 貧困をなくそう

ローカルな視点: 2 飢餓をゼロに
学校周辺に住む子どもや家庭への支援



募金活動

～誰かの何かの役に立つ～

赤い羽根募金

過去3回の募金総額

147488円

池袋駅東口の様々な場所で土曜日の放課後に募金活動をしています。赤い羽根募金は福祉活動や災害時の支援に役立てられます。



ウクライナ募金

昨今の国際情勢を踏まえ、ウクライナに住む子どもたちや避難している子どもたちのための募金を行い、ユニセフに送りました

募金総額 **75885円**



ふくのわプロジェクト

～パラにも地球にも～

ふくのわプロジェクトとは、着られなくなった・着なくなった洋服や使わなくなった衣類を回収し、ふくのわBOXに届ける活動です。その後、買い取ったり販売して得た収益金をパラ競技団体に寄付されます。また、日本では年間51万トンの衣類が排出され、その内65%が焼却処分されていますが、リユースすることで衣類焼却時の大量の二酸化炭素排出を抑えることができます。

グローバルな視点

- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を



ローカルな視点: 参加者への身近な社会問題への意識づけ



2020年度実施



2021年度実施



2022年度実施

フードドライブ

～自分達以外の人を想う～

フードドライブとは、家庭にある賞味期限内に食べることのできない食品や余った食品を持ち寄り、必要とする方々に配布する活動です。社会福祉部では、生徒から食品を集め、板橋区の社会福祉協議会に送り、板橋区内のひとり親家庭の方々に配布していただいています。



2021年度実施

2022年度実施

グローバルな視点: 1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに

ローカルな視点: 板橋区内のひとり親家庭、食料を必要とする方への支援

淑徳小英語ボランティア

～系列校の児童へ、強みを活かした活動～

長期休みに系列の淑徳小学校の児童へ、ESA部と共同で英語の本を読み聞かせたり、英語を使ったゲームをしたりする活動です。社会福祉部に留学コースの部員が多いこと、近くに系列校がある強みを活かしています。



2021年度冬休み実施

2021年度春休み実施

グローバルな視点: 4 質の高い教育をみんなに

ローカルな視点: 系列校の小学生に英語教育を

書き損じハガキ回収

～遠い国の子どもたちへ～

お正月で年賀状やハガキをたくさん交換する時期に回収を行います。NPO団体へ送るとハガキ1枚でポリオワクチン20本分に変えられ、途上国の子どもへの支援につながります。



グローバルな視点

3 すべての人に健康と福祉を

ローカルな視点: 途上国の健康問題への意識づけ

新たな取り組み

～小学生への学習支援～

小学生を対象にした学習支援活動の実施を計画しています。学校の授業や宿題でわからなかったところを私たちと一緒に考えながら解決し、授業に遅れないようサポートしていきます。最初は淑徳小から始め、近隣の公立小にも広げていく予定です。中学高校につながる基礎的な学力が家庭環境に影響されないことを目標としています。軌道に乗ってきたら、留学コースの生徒が多いことを活かして英語の学習もしていけたらと考えています。